

2025年度 事業報告

1. 2025年度の当財団の基本財産運用収入は、0.126%の運用益となりました。

2. 啓発事業

(1) 一般部門

①当財団の主要事業である「とやま環境賞」について、下記の6団体を表彰しました。

「優秀活動賞」

○日本ボーイスカウト富山第10団

富山市南部地域を中心に野外体験型活動を実施する青少年社会教育団体。

毎年6月、オイスカ富山県支部と共同で2006年から20年にわたり植林活動を行っている。また、毎年小鳥の巣箱を製作し、猿倉山山麓に設置。小鳥の観察を行うなど、自然への関心を深めている。

○一般社団法人 イヌワシ保護協会

国の天然記念物・イヌワシの観察会を開催し、広くイヌワシの魅力を発信するとともに、豊かな自然環境を作り、イヌワシの保護を呼び掛けている。

○富山県地域活性化団体 まるごとTOYAMA

県内各所をフィールドに清掃美化活動や環境保全に関するセミナー・講演会の開催、啓蒙活動・広報活動など、幅広い活動をボランティアで展開している。また、海岸・海洋ごみの削減に向けた活動にも積極的に取り組んでいる。

「ジュニア活動賞」

○滑川市立田中小学校 田中っ子環境守り隊

学校のビオトープや校区にホタルの光を取り戻すため、水質環境・土地の利用等、ホタルの生息条件について調査した。全校児童や保護者、地域の住民に環境を守る大切さを呼びかけ、自然環境の保全・改善に継続的に取り組んだ。

○滑川市立南部小学校

6年生は、「ふるさと竜宮まつり」の会場にポイ捨て禁止を訴えるごみ箱を作り、設置した。5年生は、リメイク品を作り、学習発表後にバザーと環境募金活動を開催し、収益金を県における水環境保全活動などを実施する環境団体に寄付した。

○富山県立上市高等学校 グリーン部

2017年から継続して上市川の水質調査、常願寺川水系での特定外来生物の分布調査と駆除を行っている。絶滅危惧種Ⅱ種ミヤマシジミの保護活動や、オミナエシの増殖と上市川への植え戻しを通し、豊かな自然環境を取り戻す活動を行っている。

それぞれの活動の様子は企画ニュースとして、富山テレビ放送「ライブBBT」で放送しました。

②朝日町笹川地区に暮らす人々と水の関りを描いた番組「水と生きる集落」を、15分番組として制作し、2026年2月21日（土）に富山テレビ放送で放送しました。

③当財団と富山テレビ放送で、「ジオグラフィックとやま」を5分番組として毎週1回、年間を通じて制作・放送し、自然環境の保全を提唱しました。

④当財団と国土交通省立山砂防事務所の主催による第26回「SABO体験楽校」を2025年7月29日（火）～7月31日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生3名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。

（2）情報部門

水や環境情報、団体などが行っている環境活動を富山テレビ放送の協力を得て、ニュースなどで随時紹介しました。

3. 普及事業

（1）普及広報活動

①国土交通省、富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所と共催で「第37回川の絵画コンクール」を開催しました。県内の小学校から1,833点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。また、優秀作品を取り込んだ「川の絵画カレンダー」を参加者及び県内の小学校に配布しました。

②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」を、トヨタ白川郷自然学校の協力を得て実施しました。2025年8月23日（土）・24日（日）の2日間、18組36名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。この模様は2025年8月29日（金）の「ライブBBT」で放送しました。

③富山県ひとづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2025」を実施しました。身近な水生生物や植物の飼育・観察を通じて水環境の大切さを子どもたちが学ぶ活動を助成し、その活動の模様を2026年3月21日（土）に30分番組として富山テレビ放送で放送しました。

④一般社団法人水のもり文化プロジェクトと共催で、県内の小・中・高校生を対象に、水と環境にまつわる作文を募集する「地球さんご賞」を実施しました。富山県では2回目の開催で、83名の応募の中から優秀10作品が選ばれ、2026年2月7日（土）に表彰式を行いました。

（2）催事・研究助成

①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。

②射水市 海・川の森づくり事業に助成しました。

以上